

## 次の新しいステージへ！

～若い力とともに～

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、経済・社会活動が再開するなか、本校は定員充足率が4月期に約50%だったところ、10月期には約85%にまで回復し、学校には活気が戻ってきました。

少しずつではありますが、対面でのイベントが再開できました。5月の鎌倉遠足、7月のスピーチ大会、10月のボウリング大会、10回以上の大学生や高校生、小学生との交流会、12月の大忘年会などが実施できました。これもひとえに教職員のがんばりと学生たちの協力によるものです。マスク着用など様々な制約の中でも、学生たちの笑顔と「楽しかった」という声最大の活力となっています。

また、台湾、タイ、マレーシアでは対面の留学フェアが行われ、3年ぶりに海外出張もできました。JETのブースはいつも大人気で、日本のこと、JETのことを忘れないでくれた現地の皆様に心から感謝する日々でした。

その他の嬉しいニュースとしては、JET卒業後に就職活動をする学生が「特定活動ビザ」を取れるようになったことです。昨今、就職希望の学生が増加傾向にあるため、就職支援強化へとつながっています。また、立派な卒業生、在校生のおかげで、入管庁より「在籍管理優良校」(下記参照)に選定されました。

今、私たちは、もはやコロナ前の世界に戻ることを待つのではなく、次の新しいステージに進むために、ウィズコロナ、つまりコロナによって変化した行動様式をどのように受け入れ、対応してゆかが問われています。

昨年の年頭のご挨拶で「つながり」についてお話ししましたが、今年はそれを新しい行動様式のもと、新しい形の「つながり」を校内、地域で実現してゆきます。これには学生はもちろん若い人たちの力が必要だと思っています。実際、若い力の躍動により、この変化の多い1年を乗り越えてきたと感じています。

JET日本語学校は今年4月で満35歳になります。「三十にして立ち、四十にして惑わず」のちょうど中間点となります。まだまだ迷いの中にあり、多くの失敗もあるでしょう。しかし大隈重信翁は「必ず失敗はする。失敗に落胆しなされるな。失敗に打ち勝たねばならぬ。」という言葉を残しています。失敗を恐れず、失敗しても諦めない若い力とともにJET日本語学校の存在価値を日本社会、そして世界へと発信してゆきたいと考えています。

校長 山口 閑子

10月、出入国在留管理庁より「在籍管理優良校」に選定されました。JETはこれまで「適正校」(不法残留などの問題発生率が5%以下の学校)として優遇措置を受けてきましたが、10月からの新制度により、問題在籍者が一人も発生しない期間が3年間継続していることなどから、申請書類の簡素化など、さらなる優遇措置の対象となりました。

## 3年ぶりの「大忘年会」

大学生を招き、盛大に開催

12月22日、ハイライブラザ板橋で、毎年恒例だった「大忘年会」が復活しました。過去2年はコロナの感染状況を鑑み、オンラインでの実施だったため、対面での開催は3年ぶりです。東洋大と大東文化大から7人の大学生が来てくれて、総勢127人が一堂に会するにぎやかな会となりました。

このイベントでは、司会も、ゲームを考案するのも、その景品を決めるのもすべて学生です。学生が主体となって企画し、クラスの垣根を越えて楽しむ、学生による、学生のためのイベントです。

まずは、サンタやトナカイなどの着ぐるみに身を包んだ可愛い6人の司会(台湾、香港、タイ、インドネシア、メキシコ)が登場。初級の学生もいましたが、一生懸命開会の言葉を述べてくれました。



↑うまく話せるかな…。ちょっと緊張。

グループごとのフリートークで盛り上がってきたところで、次はゲームです。ジェスチャーゲームでは、動物やもの

になりきり、チームの力を合わせて得点を稼ぎました。背中に漢字を書いて前の人に伝えていくゲームでは、「えっ!?こんな漢字ないよ!」、

「正しい書き順で書いて!」と苦戦しながらも、解答者が「ㇿ(さんずい)」や「…(れっか)」といった部首をヒントに正解を導き出し、大歓声がありました。



←「明治時代」や「紳士」など難しいお題も。伝われず!!



↑N5レベルの漢字から出題! 知っているはずなのに…、何だっけ。

最後はビンゴ大会です。後援会からのサポートもあり、豪華な景品が盛りだくさん。SONYの最新ワイヤレスイヤホンが本命かと思いきや、学生たちが狙うはなんと「サラダ油」!みんな自炊しているんですね。会場は最後まで大盛り上がりでした。

学生みんなの力で作り上げた3年ぶりの「大忘年会」、大成功でした! (郷野)

## 新入生 64 名迎え新学期スタート

10月期は新入生 64 名を迎え、全 8 クラス、122 名でスタートしました。

在籍者全体の出身地は、台湾 46 名、香港 22 名、インドネシア 16 名、タイ 14 名、マレーシア 5 名、韓国 5 名、マカオ 5 名、その他 9 名(ネパール、ベトナム、シンガポール、バングラデシュ、メキシコ、ミャンマー)です。

10月3日にクラス分けテストを行い、10月6日にハイライフプラザいたばしで入学式とオリエンテーションを行いました。入学式の対面実施は3年ぶりです。少し緊張した面持ちで会場に入ってきた学生たち。山口校長と越野理事長の歓迎の挨拶を受け、真剣な顔でうなづく姿が見られました。

通訳には、卒業生の陳柏仲さん(青山学院大院)、邱冠禎さん(お茶の水女子大院)、Maiyatat Nunckhaw さん(芝浦工業大院)、Damar Kumara さん(東京農業大)、梁永桑さん、金世熙さん、Vu Thi Hong Nhung さんと、在校生の Shrestha Kenish さんの 8 名があたりました。

入学式の後には、在校生も加わり、教室で言語ごとに分かれて親睦会を行いました。学生数も増え、全クラス完全対面授業になり、学校ににぎやかさが戻ってきました。



## 大東文化大の授業に参加

10月4日、大東文化大学との連携・交流の一環として、姫田麻利子教授の「多言語主義」という授業に進学クラスの学生全員が参加してきました。

JET の学生には複数の言語を操る学生が少なくないため、非常に興味深いテーマです。学生たちは、自分の中でどの言語がどのくらいの割合を占めているか認識するためのタスクを、日本人学生とやりとりしながら進めていきました。

どのグループも活発にやりとりが進んでいたようで、両校の学生にとって有意義な時間になりました。(木村)



## 滝野川寮オープン

9月26日より、学生の宿舎として新たに滝野川寮がオープンしました。通学に徒歩10分と便利な場所に、ワンルームタイプのアパートを2部屋確保しています。

## 大学院 研究計画発表会

12月7日、第2回研究計画発表会を行い、進学科の大学院志望者 5 名が自身の研究計画について発表しました。

参加した 7 名の先生方からの厳しい指摘や鋭い質問にドキドキしながらも、最後までしっかりと受け答えが出来たのはさすが。9か月以上もの間、ひたむきに研究テーマに向き合ってきた参加者達には、前回からの成長が見られました。聴講していた後輩達にも良い刺激になったのではないのでしょうか。今後の活躍に期待しています。

## 2022 年度奨学生決定

2022 年度の高山国際教育財団奨学生は、2 名の推薦依頼をいただき、JET 校内推薦と財団の詮衡を経て何颯菴さんと陳以理さん(ともに台湾)に決定しました。二人とも大学院進学希望で、何さんは脳科学、陳さんは建築を専攻予定です。

## 高山国際教育財団 祝賀パーティー

11月4日、高山国際教育財団創立 20 周年記念パーティーが京王プラザホテル(新宿区)で開催されました。創立者である高山成雄先生の高い志のもと、JET の学生は第一期 2001 年度から毎年推薦依頼をいただいております。大学・大学院進学後の受給も含めてこれまでのべ 53 名の学生がお世話になっています。

当日は今期受給生の何颯菴さん、陳以理さんのほか、卒業生も招かれました。マリア・イグナシアさん(近畿大学 4 年・インドネシア)が代表でスピーチをして、壇上で JET 日本語学校時代の思い出や財団への感謝の気持ちを述べました。

コロナで延期になっていたパーティーでしたが、財団のお心入れの温かい祝賀会で、JET にとっても小さい同窓会の場となりました。(得猪)



## 学習院大から教育実習生

10月17日から2週間、学習院大学から教育実習生を2名受け入れました。26日には教壇実習を行いました。

## 中学生の職場体験

11月8日から10日まで、都立小石川中等教育学校の2年生2名が、職場体験に来ました。3日間、色々なクラスで授業を見学したり、学生と交流したりしました。



## 桜美林大からインターン生 3 名

11月から、桜美林大学の学生3名を、インターン生として受け入れています。それぞれ週一回、授業見学をしながら、学校の事務などを手伝っていただいています。



## オンライン日本語教育実証事業

文化庁の「ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業」の委託を受け、2022年8月のサマーコースを皮切りに12月まで、全6コースの授業を行いました。

体験型サマーコースでは、10月に入学予定の7名が受講し、入学前の良い準備期間となりました。また、その他のクラスは台湾の玄奘大学、池田辰彰先生にご縁をいただき、台湾で日本語を学ぶ大学生たちに教える機会となりました。(なんと、台湾人だけでなく、香港人、インド人もいました!) オンライン授業の難しさはありましたが、日本でインターンを予定している学生や将来、仕事をしたいといった学生たちを相手に3か月間、授業を行いました。

	コース	期間
1	日本事情体験型+ テキストで学ぶサマーコース	8/5~9/7
2	JLPT 対策 N2 文字語彙・文法	語彙 9/5~11/28
3	JLPT 対策 N3 文字語彙・文法	文法 9/8~11/24
4	ビジネス日本語コース	9/15~11/24
5	EJU 数学対策コース	10/8~12/10
6	生活者のための日本語コース	11/1~12/7

この事業の目標は、①学習効果の向上、②カリキュラムの充実、③潜在的学習者の掘り起こしの三点です。終了後、受講者にアンケートをとったところ、概ね90%以上の満足度でした。今後のオンライン授業については、可能であり、今後利用することもプラスになると思います。特に、既に入学することが決まっている学生に対しては有効な授業が行えることがわかりました。ただし、そのためには、以下のことがとても重要になると考えています。

- ① 授業の最終目標をはっきりさせ、全員が共有できること
- ② オンライン授業が始まるまでの事前準備(ルール確認や授業の進め方などの共有)をしっかりとしておくこと

今後のJETにおけるオンライン授業の在り方を考える上で、良い実証となりました。(山口)

## 企業経営者との意見交換会

12月12日、東京商工会議所北支部「きた経営塾」の8名の社長さんたちをお招きし、学生9名と意見交換会を行いました。学生からあらかじめ出ていた質問にお答えいただいた後、小グループに分かれて1時間半存分に話しました。



←「限られた時間、しっかりと活かして！」高岡社長から  
どらいうぶ景色から喝が。

「外国人に何を期待しますか」という質問に対し、社長さんから「では逆に、どうして日本で働きたいのですか」と問いかげられ、ことばに詰まる瞬間も。黄さん(台湾)は、「なぜ日本か、まず自分を理解しなければなりませんね。必ずも

つとがんばります」、王さん(香港)は、「なぜ日本で働きたいかはっきり自覚できた。自分の能力を否定せずに能力をあげて、やりたいことを実現したい」と話していました。

8名それぞれの業種ならではの具体的な知識やアドバイスもいただきました。「ほんとうにとっても勉強になった。参加できて幸運でした。」(簡さん、翁さん・台湾) 社長さんの熱いことばに、授業の時以上に真剣に耳を傾け、よく話していました。きた経営塾の皆さまに直接ご指導いただけるご縁もここ北区ならではの、あらためて感謝申し上げます。(得猪)

## 2022年度就職内定者4名

12月現在、4名の学生(台湾2、香港2)が日本就職内定を得ました。全員前期の校内就職セミナーで、しっかり履歴書の書き方と面接の受け方を学びました。業種は販売、電子機器メーカー、測量会社、ITエンジニアです。

指導にあたった奥山信也先生が手ずから作り上げた瓢箪(ひょうたん)が、内定者にお祝いとして贈られます。



## 漢字 進級試験で満点7名

12月13日に行った漢字クラスの進級試験で、7名の学生が満点で合格し、飛び級で上のクラスに入りました。褒賞として、学校から漢字ノートとお菓子のセットが贈られました。

## ご結婚おめでとう!

12月18日にタイ、バンコクのウェスティンホテルで執り行われた、Thanatchaya Thanom さん(タイ・2014卒)と Tito Pladono Tomo さん(インドネシア・2013卒)の結婚式に出席しました。二人は10年前にJETで知り合い、7年間遠距離で愛を育んできました。朝8時からタイの伝統的な式が行われ、夜には300人以上が集まる盛大なパーティーが開かれました。パーティーでは、10人以上のJETの卒業生たちにも再会でき、みんなで祝福しました。涙あり、笑いありの素晴らしいパーティーでした。(山口)



## ♪ 後期の日本事情講座 ♪

- |                       |               |       |
|-----------------------|---------------|-------|
| ① 「和紙と遊ぼう！」           | 11月25日~12月23日 | 竹川先生  |
| ② 「なつみの台所」            | 1月12日~2月16日   | 山下先生  |
| ③ <b>NEW!</b> 「エチュード」 | 1月13日~2月10日   | 永田先生  |
| ④ いろいろ講座              | 1月12日~2月16日   | 4名の講師 |

# 日本人学生との交流

## ○10月8日、11月2日 早大生らとの交流会

早稲田大学の国際交流サークル WIC の月例イベントに、JET から10月(オンライン)は2名、11月(早大での対面開催)は12名の学生が参加しました。実はコロナの影響により、大学での開催は3年ぶり。学生たちは、「あの有名な早稲田に行ける！」と大喜び。大隈重信像が見えるなり駆け寄って、記念写真を撮っていました。

イベントでは多言語で伝言ゲームをしたり、留学生活について話したりし、楽しい時間を過ごしたようです。(郷野)

## ○10月24日 目白大生らとの交流会

目白大、学習院大、上智大の大学生計7名をお招きし、交流会をしました。初級から上級の学生16名が参加しました。

10月に入学した学生にとっては、日本語の力だめしといったところでしょうか。最初は緊張した面持ちでしたが、共通の話題でだんだん緊張がほぐれたのか、最後には廊下まで笑い声が聞こえてくるほど盛り上がりました。(山下)

## ○11月25日 順天高校との交流会

Fクラスの15名が順天高校(北区)を訪れ、英語クラスの高校生7名と交流会を行いました。高校生たちは習字、剣道、琴の演奏、袴の着付け、かるたゲームと、盛りだくさんのプログラムを用意して、歓迎してくれました。

ほとんどが10月からの新生で、日本人との交流も初めてでしたが、一緒にプログラムを楽しむうちに自然と距離が縮まってきました。素敵な交流の機会をくださった順天高校の皆様、ありがとうございました。(山下)



## ○11月30日 桜川小学校との交流会

板橋区立桜川小学校を訪問し、5年生(約100名)とEクラスの学生17名で交流会を行いました。

まず、JETの学生が子どもたちに、自国の文化や言葉を紹介しました。子どもたちの多くがまだ海外に行ったことがないというのを聞き、「まずは台湾へ!」、「いや〜、やっぱりタイですよ」と子どもたちに猛アピールしていました。子どもたちも目をキラキラと輝かせて話を聞いてくれました。

その後、今度は子どもたちが学生に、福笑いやベーゴマ、めんこといった昔ながらの遊びを紹介してくれました。

小学校に到着する前は緊張していた学生たちでしたが、子どもたちのあたたかさに触れ、「また交流したい!」、「次は自



分の国の遊びを一緒にやりたい」と話していました。給食を体験することは時節柄まだ叶いませんでしたが、帰路では紅葉狩りも楽しみ、充実した一日になりました。(郷野)



## ○佐々木真さんの室内楽コンサート

10月13日、新生10名がゆめりあホール(練馬区)に向かいました。フルート奏者佐々木真さんのご招待による前中榮子さん(ソプラノ)、新垣隆さん(ピアノ)とのトリオコンサート。

「プログラムを見ながら聴くのはいい日本語学習」(梁さん)、「バッハのフルートソナタ第二楽章が好き」(曾さん)、「前中さんの歌で両親を思い出した」(鍾さん)、「團伊玖磨のソナタのリズムの変化が面白い。佐々木さんのフルートはすばらしかった」(蔡さん)。

雨の夜でしたが、全員日本で初めてのコンサートに参加できた幸運を喜んでいました。(得猪)



「佐々木さん」夫妻とともに。

## ○北区花火会

10月22日、荒川河川敷・旧岩淵水門周辺にて北区花火会が開催されました。北区の民間企業が中心となり地域の方々と協力して運営するイベントで、実施は3年振り。越野理事長のご厚意でチケットを頂き、3名の新生が足を運びました。ベトナム人のチャンさんは、翌朝6時からの清掃活動にも参加しました。音楽と共に打ち上げられる迫力満点の景色に、みんな大満足。留学生活の幕開けを彩る夜になりました。

## ○文楽鑑賞教室

12月7日、学生9名と文楽鑑賞教室(国立劇場)へ行ってきました。演目は「絵本太功記一夕顔棚の段 ニヶ崎の段」。

繊細な人形の動き、展開に抑揚をつける三味線の音色、太夫の力強い語りが一体となった文楽の世界観に、学生たちは終始圧倒された様子でした。(山下)

## 初の「ボウリング大会」開催!!

10月14日、東京プラザボウル(板橋区)にて、JET初のクラス対抗ボウリング大会を開催しました。

秋の遠足に代わって開催した本イベント。ボウリングが初めてで心配していた学生も、得意な人に教えてもらい、楽しんで参加していました。一投ごとに歓声があがり、ストライクやスペアのときは更に大はしゃぎ。クラスが一致団結し、交流も深まりました。

ハイレベルな争いの結果優勝したBクラスには、お菓子の詰め合わせ、最高得点の林&金ペア(Dクラス)には、ペアの水筒が、後援会より贈られました。第二回もあるかも?!(石津)



↑最優秀の林&金ペア。おめでとう!